

蠟管の非接触スキャンによるアーカイブと画像の音声化 「スキュメラ フォノグラフ」開発 発表

2014年9月3日 ニューリー株式会社

ニューリー株式会社（代表取締役社長 井田敦夫）は、トーマスエジソン^(注1)が発明した蠟（ろう）を主成分とした円筒表面に刻まれた円筒型音声記録媒体（以後、蠟管またはロウカンと記述；右写真参照）を、当社スキュメラ技術^(注2)を応用した蠟管非接触スキャナ「スキュメラ フォノグラフ」装置を開発し、読



取ったスキュメラ画像から音声をデジタル再生することに成功した。

このことにより今後、現在保存されている貴重な蠟管が、恒久的にデジタル保存、可視化保存ができることや、更に実物に依存しないでそのデジタル化画像から音声を再生できること、保存されている蠟管自体が劣化し、損傷が大きい場合でも画像読取り、画像修復を施すことで部分的に音声再生が可能になり、歴史的検証が画期的に行われることが期待できる。尚、本技術は既に特許を取得しており、今後は、国内の大学、博物館等で保管されているロウカンのアーカイブサービスとして事業展開を行う予定である。



*注釈1) トーマス・アルバ・エジソン (Thomas Alva Edison) 1847-1931年アメリカ合衆国生まれ。1877年、蓄音機発明

*注釈2) スキュメラ技術；ニューリーが独自開発した立体物の表面の質感を精細に読取るスキャナ技術。マルチアングルスキャナ、刃文スキャナ等の特許を取得している。2009年7月第3回ものづくり日本大賞「経済産業大臣賞」を受賞した。

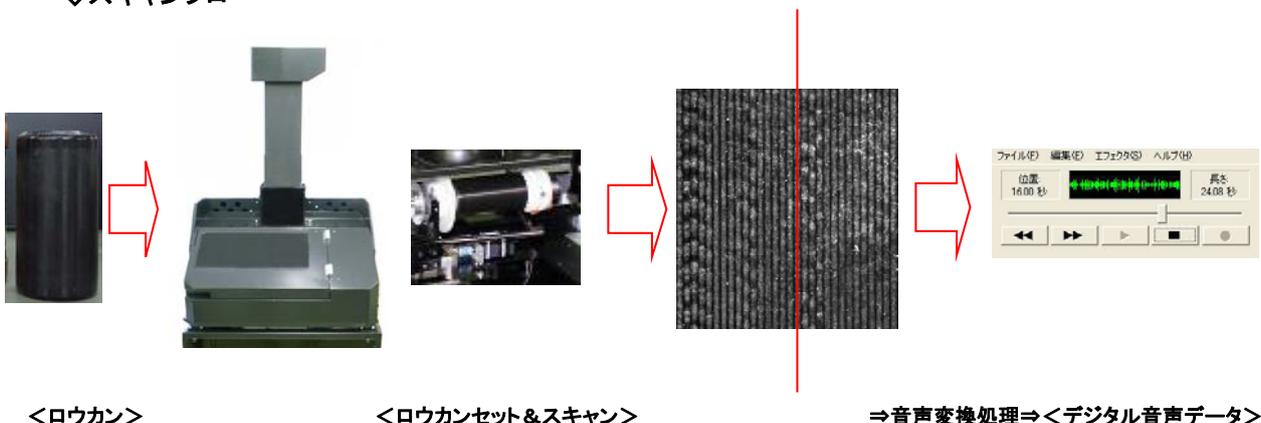
■ 概要

◇再生方式；ロウカンの非接触溝読取り(画像)と溝濃淡画像の音声変換

◇スキャナ仕様

- ・ロール&Zフォーカススキャニング方式
- ・光学解像度；7650dpi
- ・ロウカン読み取りサイズ；166mm(53Φ)×100mm

◇スキャンフロー



~~~~~本件に関するお問合せ先~~~~~

ニューリー株式会社 〒613-0031 京都府久世郡久御山町佐古外屋敷125  
Tel:0774-43-3011 /Fax:0774-44-9288 /mail: info@newly.co.jp /URL: http://www.newly.co.jp

~~~~~本件に関するお問合せ先~~~~~

ニューリー株式会社 〒613-0031 京都府久世郡久御山町佐古外屋敷125

Tel:0774-43-3011 /Fax:0774-44-9288 /mail: info@newly.co.jp /URL: <http://www.newly.co.jp>